

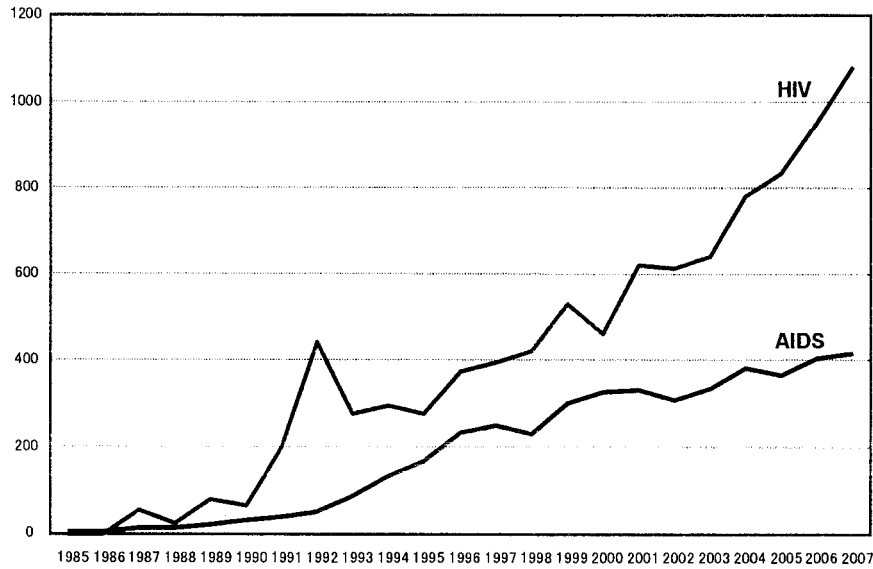
HIV流行の国際的文脈と 日本のエイズ施策分析の試み

京都大学大学院医学研究科社会疫学分野
国連合同エイズ計画共同センター

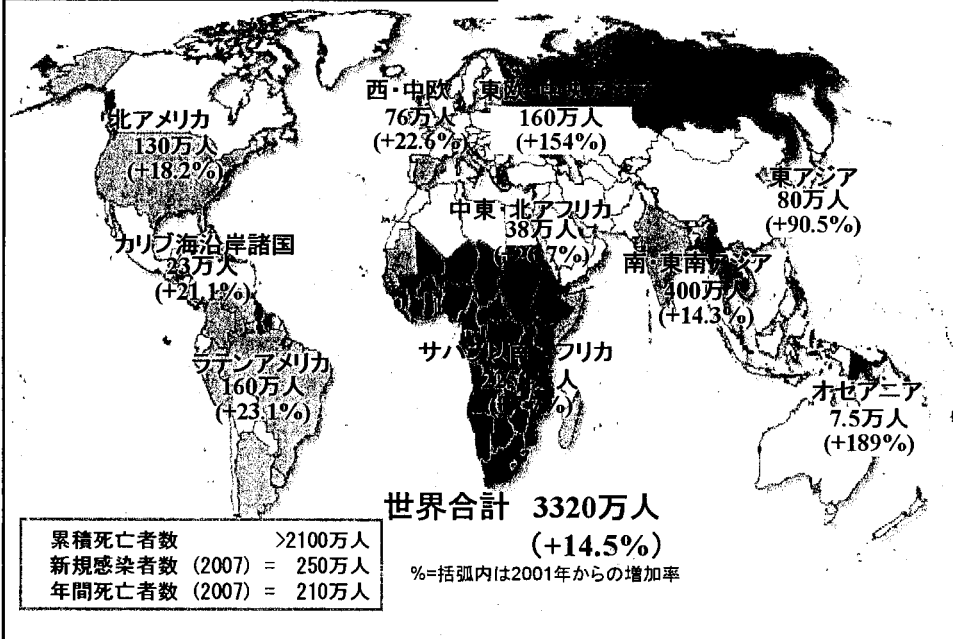
木原正博

HIV流行の国際的文脈について

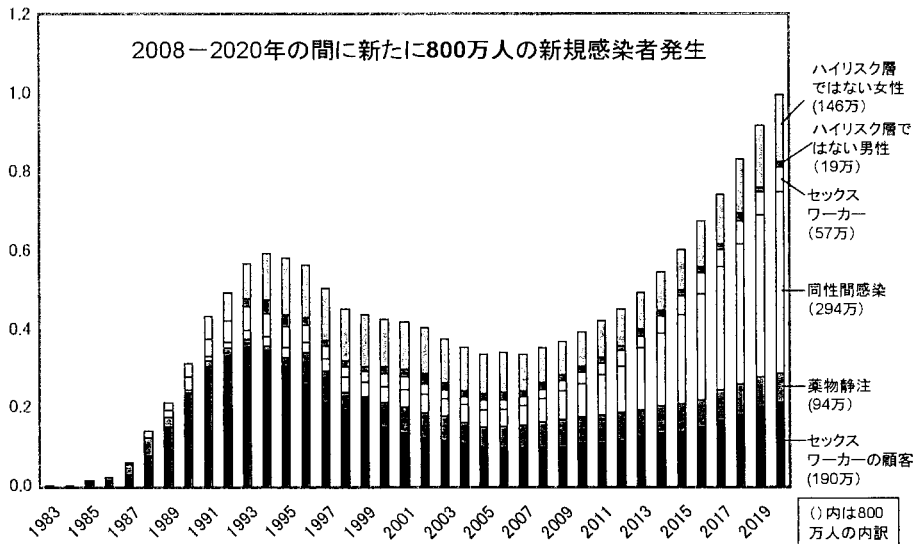
HIV感染者・AIDS患者の年次動向



世界の生存HIV感染者数



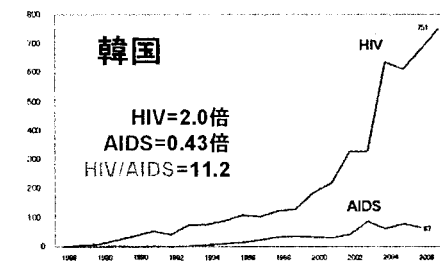
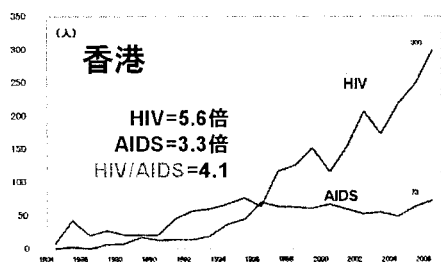
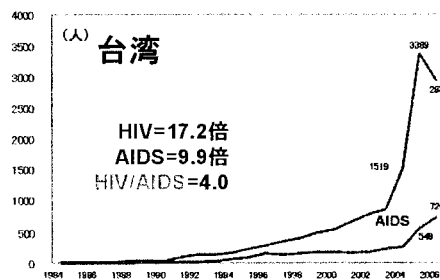
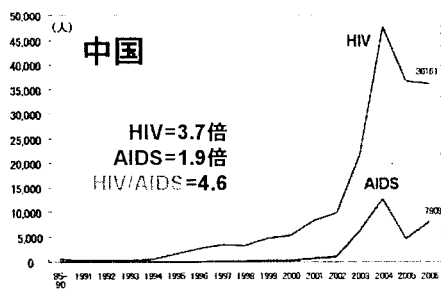
アジアにおけるHIV流行の最新予測



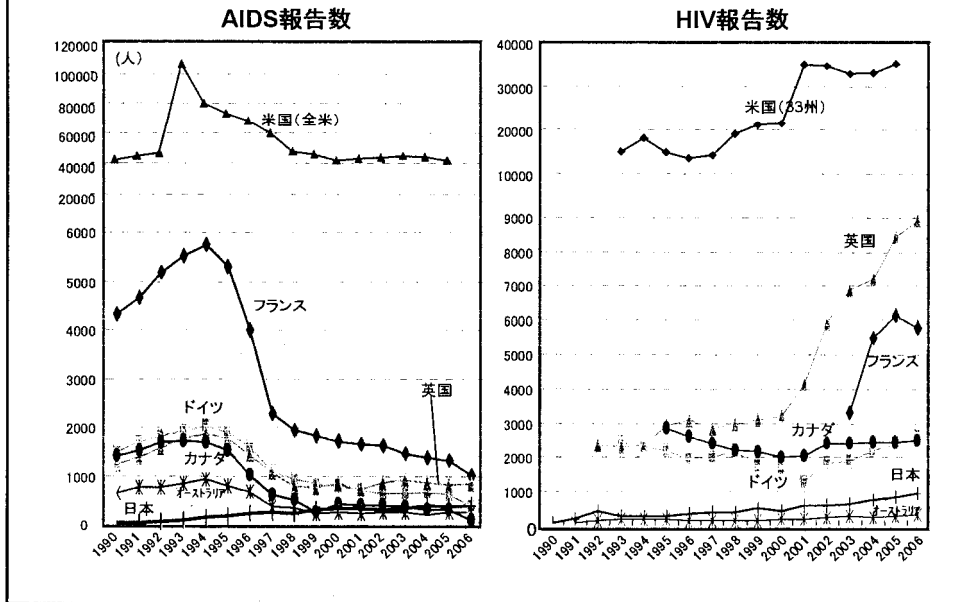
出典: UNAIDS Commission AIDS in Asia. Redefining AIDS in Asia-crafting and effecting response. Oxford University Press. March 26, 2008

近隣諸国・地域におけるHIV感染者・AIDS患者の年次動向

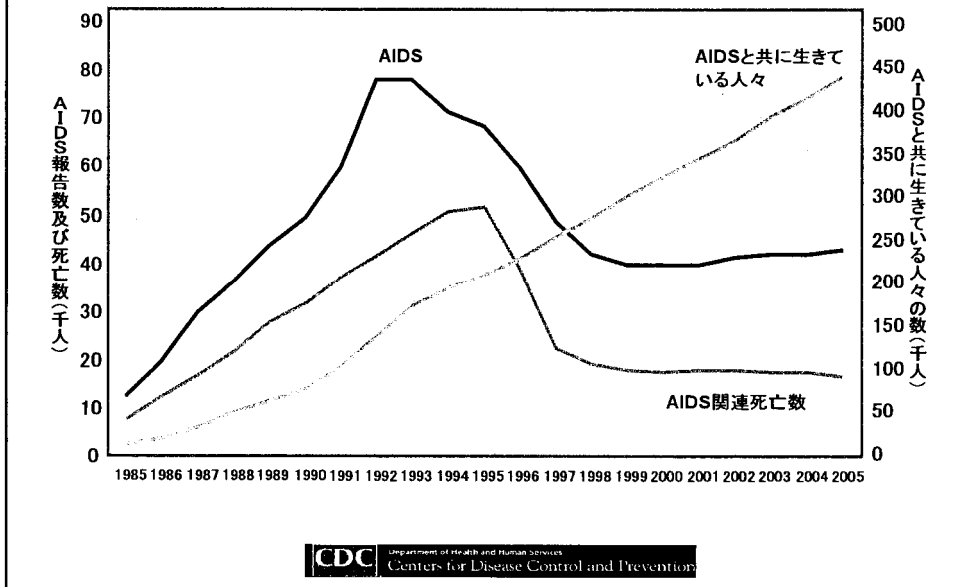
注: 倍率は2006年の報告数(人口対)の日本との比



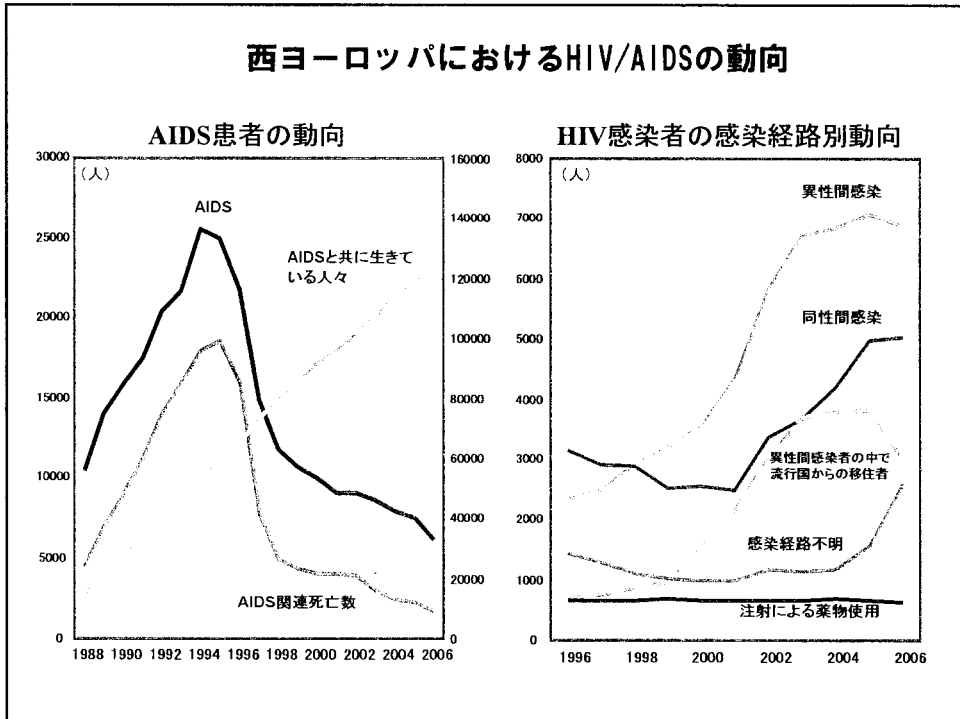
先進国におけるHIV/AIDSの動向



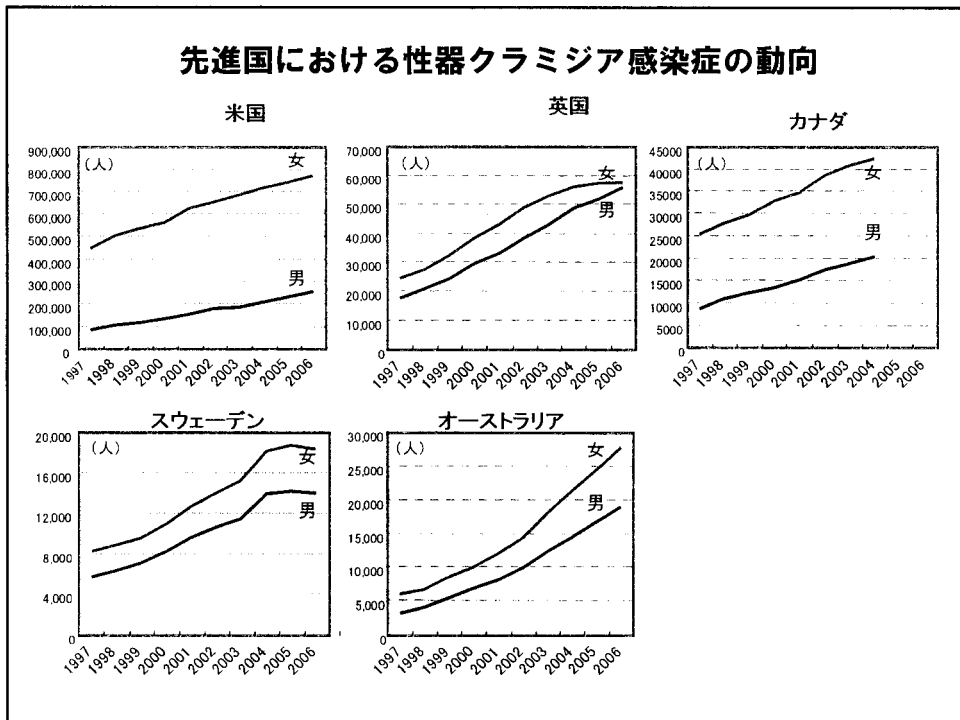
米国におけるAIDS患者の動向



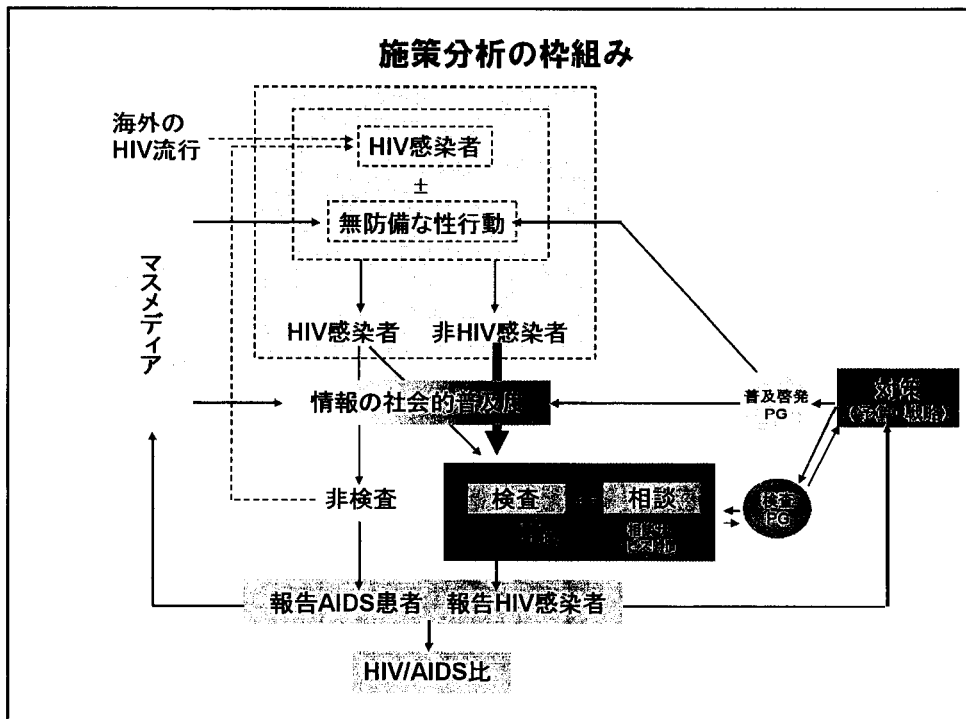
西ヨーロッパにおけるHIV/AIDSの動向

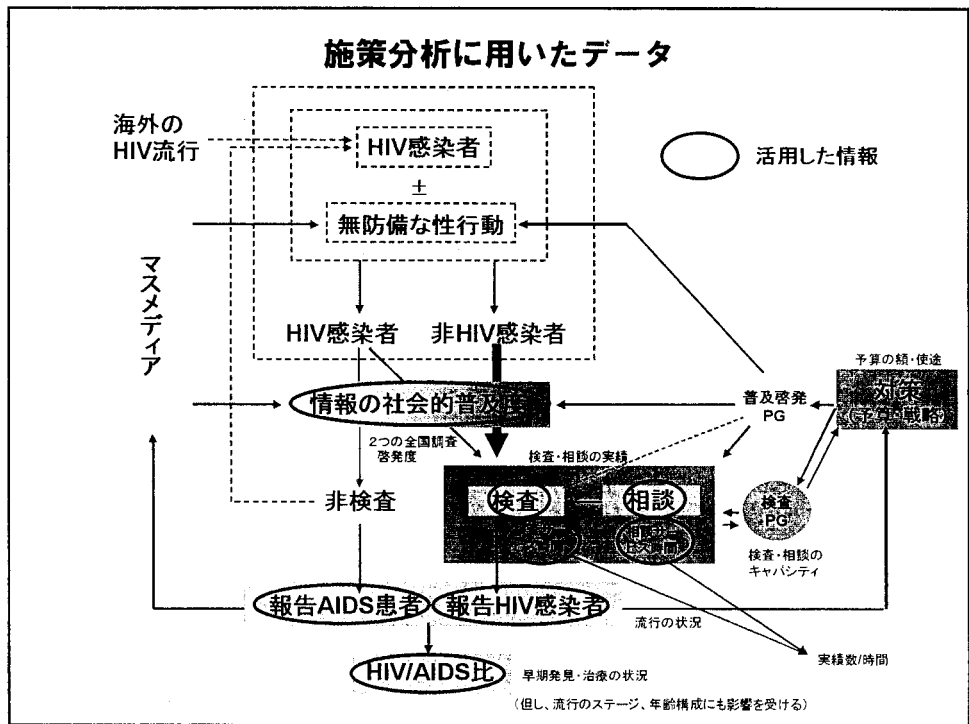


先進国における性器クラミジア感染症の動向



エイズ施策分析の試みについて





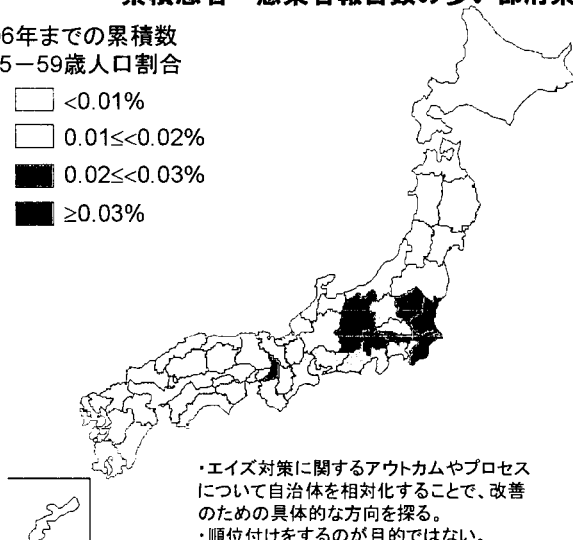
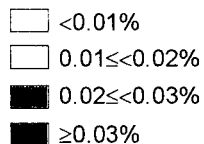
日本全体の施策について

指標	比較
HIV報告数の人口比 (2006年)	英国14.9、カナダ9.4、フランス9.2、オーストラリア5.1、ドイツ3.3、日本0.8
AIDS報告数の人口比	フランス1.6、英国1.4、カナダ1.0、オーストラリア1.0、ドイツ0.4、日本0.3
HIV/AIDS比	英国10.4、カナダ9.9、ドイツ7.5、フランス5.6、オーストラリア5.4、周辺国・地域(4.0-11.2)、日本2.4
HIVの年齢分布 (<30年齢層の割合、2002-2006年)	日本33.1%、英国31.7%、ドイツ30.5%、米国25.6%、オーストラリア24.2%、カナダ21.8%
検査普及度	米国では75%の感染者が自分の感染を知っている。 (*CDC: Testing-United States, MMWR, 2001より) 日本では20-30%程度。

自治体の施策分析

累積患者・感染者報告数の多い都府県

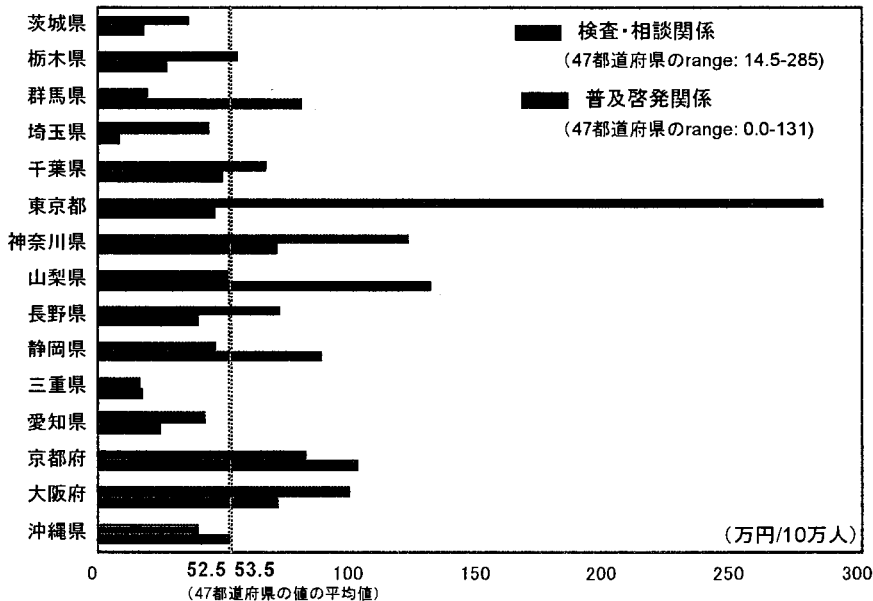
2006年までの累積数
の15-59歳人口割合



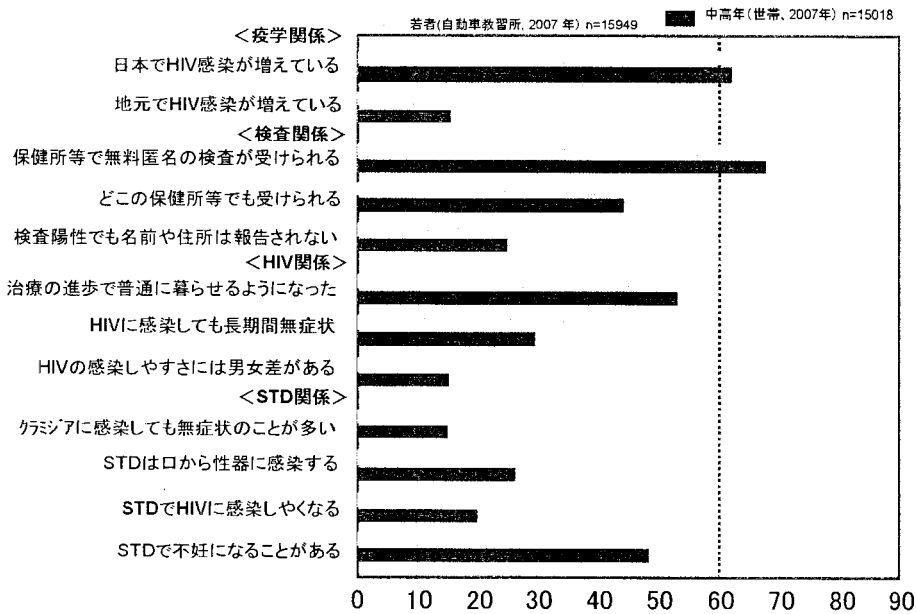
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 山梨県
- 長野県
- 静岡県
- 三重県
- 愛知県
- 京都府
- 大阪府
- 沖縄県

・エイズ対策に関するアウトカムやプロセス
について自治体を相対化することで、改善
のための具体的な方向を探る。
・順位付けをするのが目的ではない。

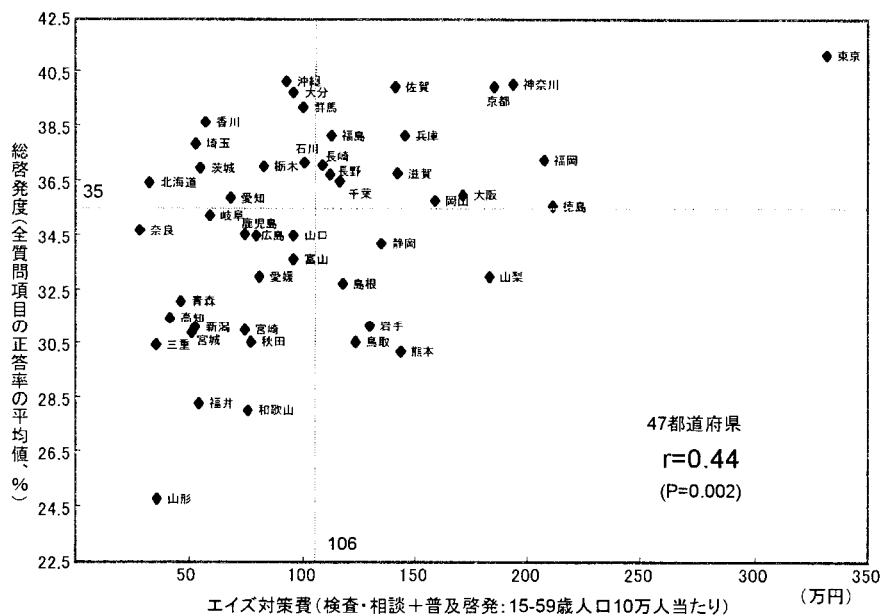
2006年度エイズ関連予算



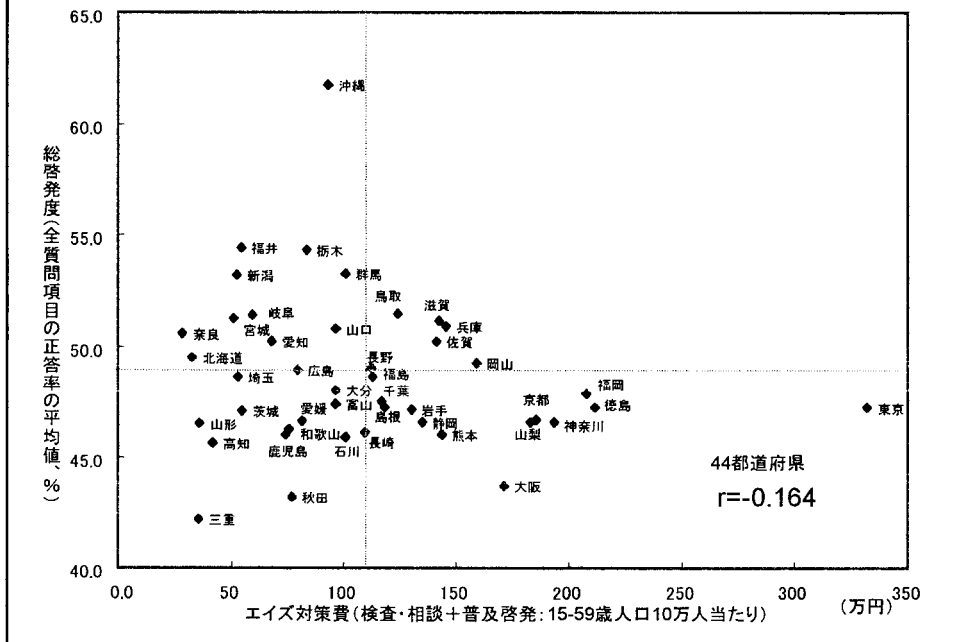
エイズ/STD啓発度の主な測定項目



2007年世帯調査による啓発度(中高年対象)と関係予算との関連



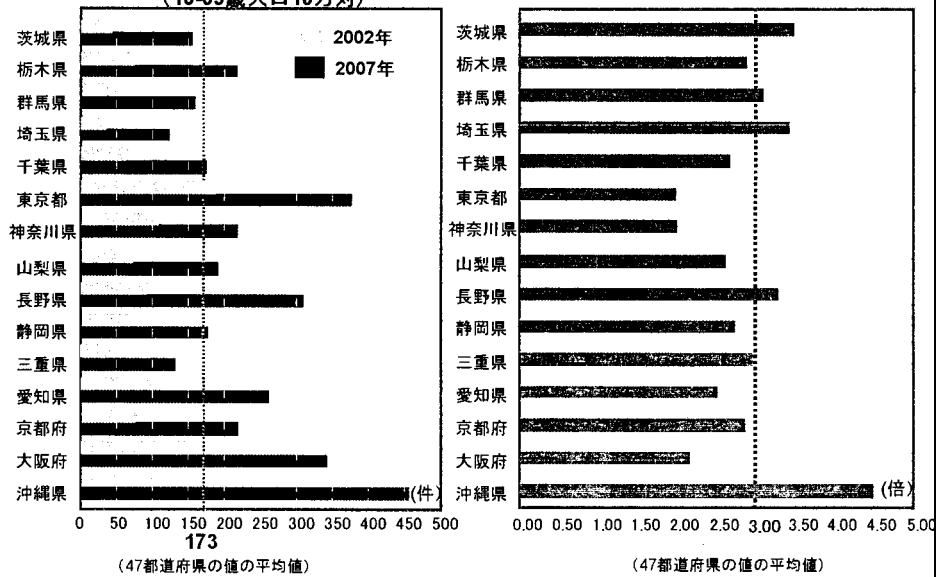
2007年教習所調査による啓発度（若者対象）と関係予算との関連



HIV検査の多面的検討（1）

2002年と2007年のHIV検査数
(15-59歳人口10万対)

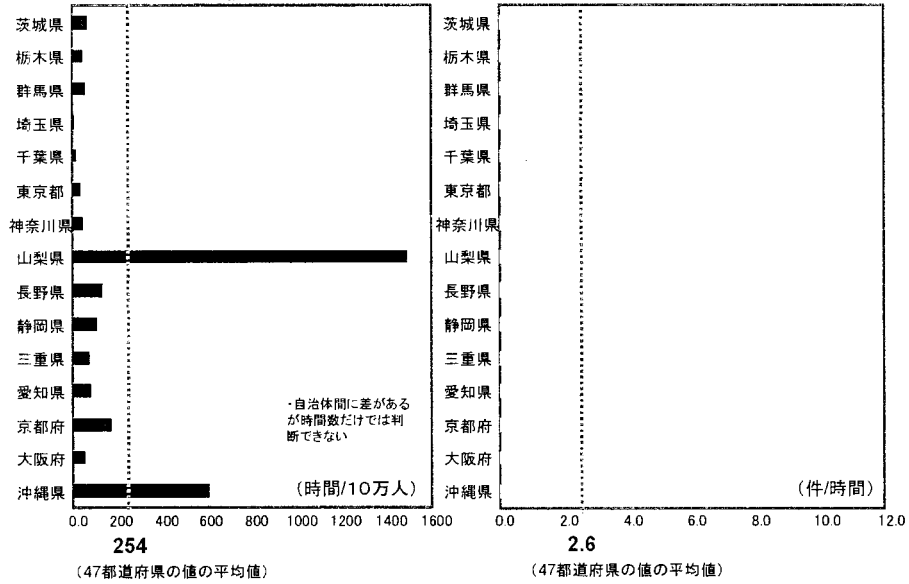
検査伸び率(2007年/2002年)



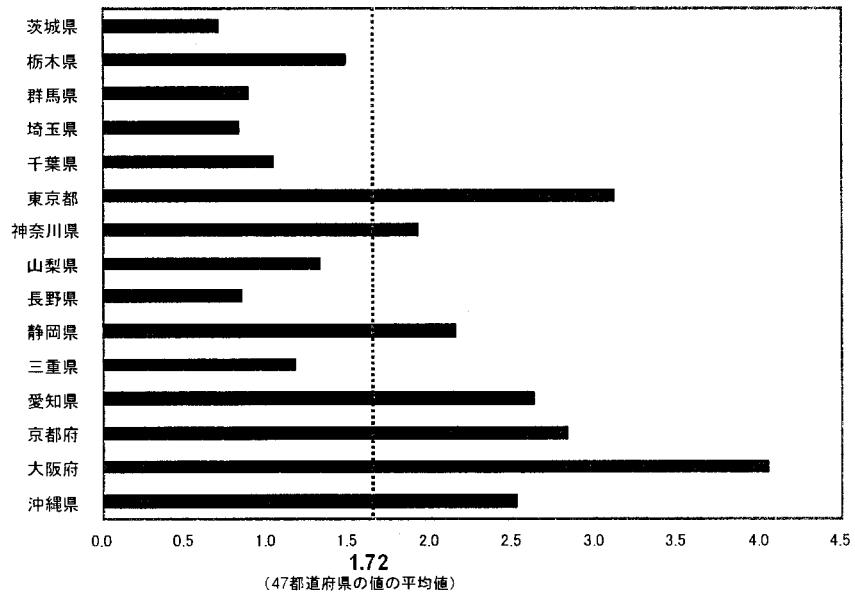
HIV検査の多面的検討（２）

2007年HIV検査サービス時間数
(15-59歳人口10万対)

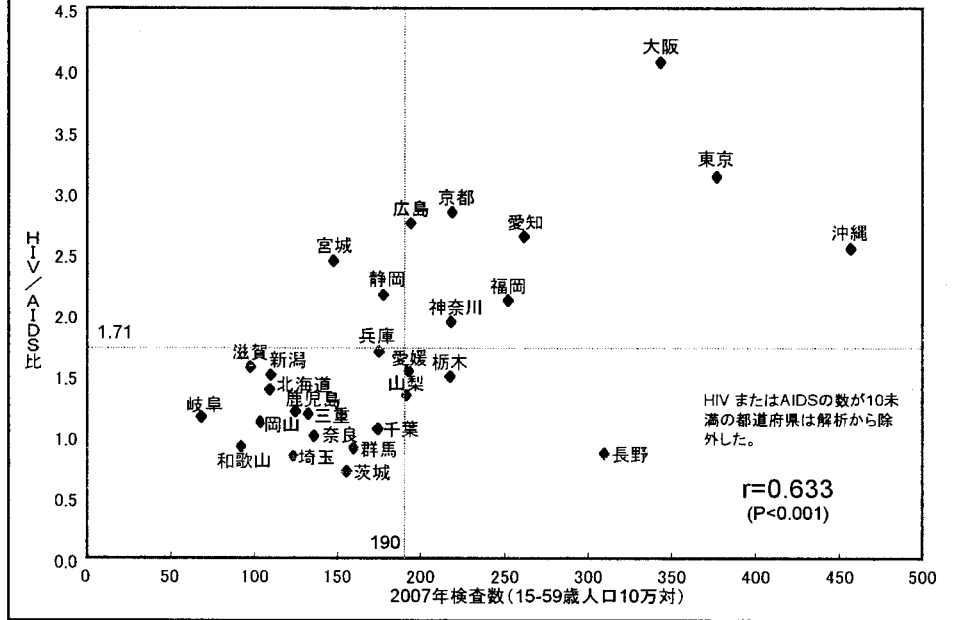
2007年1時間当たりの検査件数



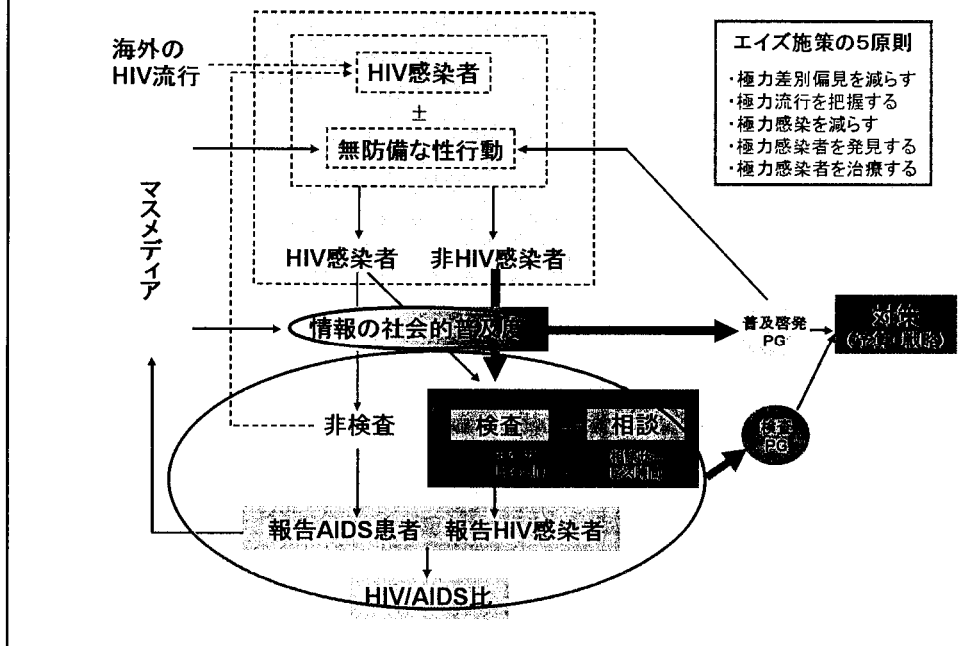
2007年検査判明HIV/AIDS比



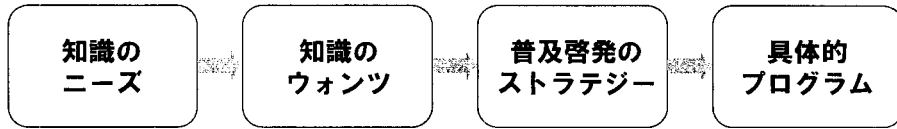
HIV/AIDS比と検査数の関連



施策分析から施策提言へ



施策分析からの普及啓発対策への提言

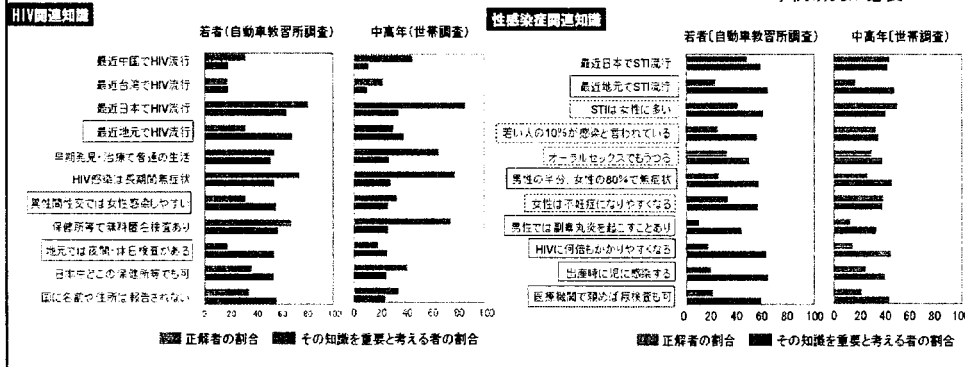


- ◆地元のHIV流行情報
- ◆STD関連情報
- ◆夜間・休日検査関連情報

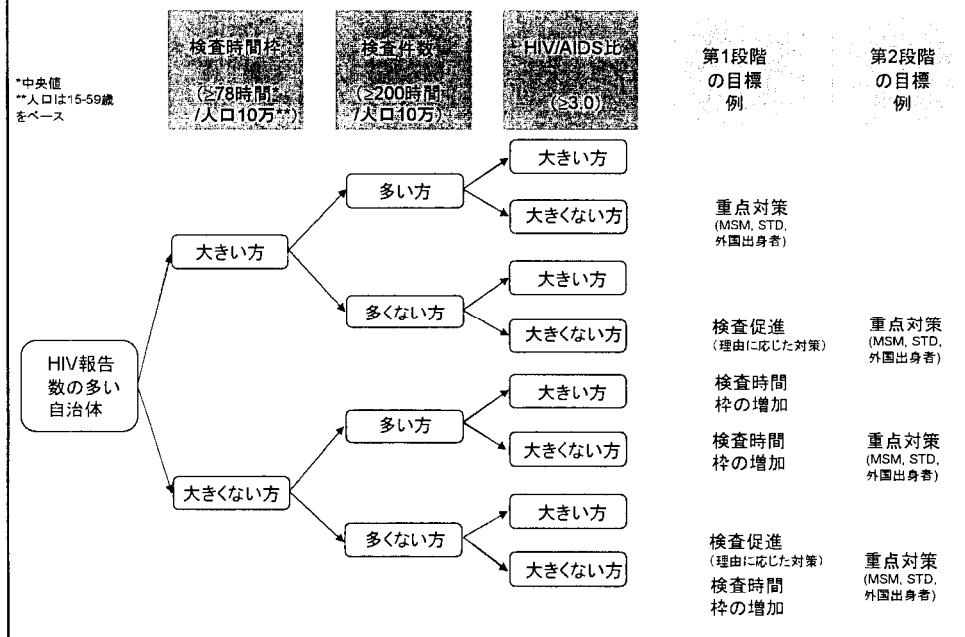
- ◆若者 > 中高年
- ◆女性 > 男性

- ◆メッセージ
- ◆チャンネル (量、媒体、時間、場所)

事例研究が必要



施策分析からHIV検査対策への提言



施策分析から施策提言へ

